

## 「保育者・指導者ための体験会」報告書

令和3年8月18日（水）

### 【目的・趣旨／概要】

自然の中で遊ぶことの魅力を参加者自ら体感することにより、幼児が自由かつ主体的に遊ぶことのできる環境を考える。また、自然体験活動を実施する際の安全管理の考え方について学ぶ。

### 【連携先】

郡山女子大学短期大学部幼児教育学科准教授 柴田 卓 氏

西白河地区の公立幼稚園長会

### 【参加者】

対象：西白河地区の公立幼稚園長

実績：15名

### 【プログラム概要】

【集合・受付】【はじめの会】 10時00分～10時30分

【講義】 10時30分～11時45分

「自然を活かした保育の動向と実践～北欧と日本の事例から～」というテーマで、柴田先生の講義を聞く。日本と世界（北欧）の保育についての比較の話の聞いたり、写真を見たりすることで、自然保育についての理解を深めることができた。

【昼食・休憩】 11時45分～12時45分

【実技】 12時45分～13時45分

わくわく広場で午前中の講義の内容をもとにした自然体験活動の実践を行った。前半は、ネイチャーゲーム等の導入の仕方を学び、五感を使ったゲームを体験した。後半は、活動場所やポイントを紹介しながら、わくわく広場周辺を散策した。

【おわりの会】【解散】 13時45分～14時00分

### 【成果】

- ・ 保育指導者の事業は、人を集めにくいという課題があったが、今回、西白河地区の公立幼稚園長会と連携することにより、参加人数を確保することができた。研修内容（講義・実践）も好評であった。
- ・ 午前中は講義ということもあり、参加者も緊張気味であったが、午後は、五感を使った実技を体験することで、参加者の表情もほぐれていった。わくわく広場周辺を散策する頃には、楽しく会話をしている姿が見られた。
- ・ 自然あふれる当施設の魅力を再確認すると共に、幼稚園などの団体が利用する場合のプログラム作りの参考となった。

### 《参加者の声》

- ・ 北欧の保育園の様子を知ることができ、理解が深まりました。
- ・ 自然の中での保育の大切さが分かりました。自園でも取り組めるものから実践してみたいです。
- ・ 今までにない研修内容（講義・実践）で新鮮が楽しかったです。
- ・ 若い職員にも体験してほしいと思いました。

### 【課題と方策】

- ・ 今回、はじめて講義・実技という形式で行うため、2時間で実施した。大変好評であったが、時間が足りず、紹介できない内容もあった。参加者から「もっと自然活動体験をしたかった。」という声もあった。来年度、保育者対象で事業を行う際は、時間の確保と共に実践活動の時間を多く取り入れたい。
- ・ アンケートから、「若い職員にも実際に体験活動を受けさせたい」という感想が多数あった。来年度に向け、さらに園長会と連携しながら、新人研修や各園から募集を募るなど、広報にも力を入れていきたい。

国立那須甲子青少年自然の家〔作成〕企画指導専門職 江口 俊文

